

CASBEE_Sapporo2014v1.2
札幌厚仁会リハビリテーション病院

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q1 建築物の環境品質										3.3
Q1 室内環境							0.40			3.3
1 音環境						2.6	0.15	3.0	1.00	2.6
1.1 騒音						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音						3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能						3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						1.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境						3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能	A					3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
3.1 屋光利用						3.0	0.30	3.0	0.40	
1 屋光率						3.0	0.60	3.0	0.60	
2 方位別開口						3.0	-		-	
3 屋光利用設備	A					3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	3.0	0.40	
1 屋光制御	A					3.0	1.00	3.0	1.00	
2 眩り込み対策							-		-	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.20	
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						4.7	0.25	-	-	4.7
4.1 発生源対策						5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質					F☆☆☆☆の建築材料を選定	5.0	1.00	-	-	
2 汚染物質対策							-		-	
4.2 換気						4.0	0.30	-	-	
1 換気量					建築基準法20m ³ /h・人の1.4倍以上に該当する30m ³ /h・人を確保。	5.0	0.50	-	-	
2 自然換気性能						3.0	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	-	-	
4.3 運用管理						5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視							-	-	-	
2 喫煙の制御					館内は禁煙として計画	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.4
1 機能性						3.7	0.40	4.6	1.00	3.8
1.1 機能性・使いやすさ						4.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性					病室4床室35m ² 、1床室20m ² 確保	3.0	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画					高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律17条3項の認定	4.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	4.0	0.40	
1 広さ感・景観					病室天井高さ2.5m確保	3.0	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						3.0	-		-	
3 内装計画					インテリアベースを用い照明計画等と合わせ設計	3.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理						4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計					清掃性に配慮した外装材及び内装材量を選定	4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保					維持管理性に配慮し、倉庫、廃棄物保管庫を広く計画	4.0	0.50		-	
3 衛生管理業務							-		-	
2 耐用性・信頼性						3.3	0.30	-	-	3.3
2.1 耐震・免震						3.8	0.50	-	-	
1 耐震性					重要度係数I=1.25	4.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		B				3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		B				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		B				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		B				3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		B				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					節水器具を採用、受水槽を2基に分割設置、受水槽に緊急時取水栓設	4.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性						3.0	0.30	3.5	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり						4.2	0.30	4.0	0.50	
1 階高のゆとり					1, 2階 4200mm 3~5階 3700mm	5.0	0.60	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					南北面に窓面を広くとった計画	3.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり						2.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性						3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性						3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性						3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性						3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性						3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性						3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保						3.0	0.20	-	-	

CASBEE Sapporo2014v1.2 札幌厚仁会リハビリテーション病院		重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				
スコアシート		重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				
実施設計段階		重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				
配慮項目		A	B	C	D	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体		
		A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	3.2
1 生物環境の保全と創出				C		3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮				C		4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮						2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上					D	3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			B	C		2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		A				4.5	0.20	-	-	4.5
2 自然エネルギー利用		A				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化						3.0	0.50	-	-	3.0
3.1 設備システムの高効率化						3.0	1.00	-	-	-
3.2 設備システムの高効率化						3.0	-	-	-	-
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 効率的運用						3.0	1.00	-	-	-
4.2 効率的運用		A				3.0	0.50	-	-	-
4.3 効率的運用		A				3.0	0.50	-	-	-
4.4 効率的運用		A				3.0	-	-	-	-
4.5 効率的運用		A				3.0	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水						4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	-
1.2.1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	-
1.2.2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減						2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			B			2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			B			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			B			3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			B			3.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			B			2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			B			3.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避						2.3	0.20	-	-	2.3
3.1 汚染物質含有材料の使用回避						3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避						2.0	0.70	-	-	-
3.2.1 フロン・ハロンの回避						-	-	-	-	-
3.2.2 フロン・ハロンの回避			B			2.0	0.50	-	-	-
3.2.3 フロン・ハロンの回避			B			2.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮			B			3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮						3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 地域環境への配慮			B			3.0	0.25	-	-	-
2.2 地域環境への配慮			B	C	D	3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.5	0.25	-	-	-
2.3.1 地域インフラへの負荷抑制			B			4.0	0.25	-	-	-
2.3.2 地域インフラへの負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-
2.3.3 地域インフラへの負荷抑制						4.0	0.25	-	-	-
2.3.4 地域インフラへの負荷抑制			B		D	3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮						2.4	0.33	-	-	2.4
3.1 周辺環境への配慮						3.0	0.40	-	-	-
3.1.1 周辺環境への配慮						3.0	0.33	-	-	-
3.1.2 周辺環境への配慮						3.0	0.33	-	-	-
3.1.3 周辺環境への配慮						3.0	0.33	-	-	-
3.2 周辺環境への配慮						1.6	0.40	-	-	-
3.2.1 周辺環境への配慮						1.0	0.70	-	-	-
3.2.2 周辺環境への配慮						3.0	-	-	-	-
3.2.3 周辺環境への配慮						3.0	0.30	-	-	-
3.3 周辺環境への配慮						3.0	0.20	-	-	-
3.3.1 周辺環境への配慮						3.0	0.70	-	-	-
3.3.2 周辺環境への配慮						3.0	0.30	-	-	-